

令和4年度 教育活動関係者評価

藤枝順心高等学校附属幼稚園

1 幼稚園の教育目標

教育目標 豊かな心とたくましい体を持った子
 重点目標 思いやりのある子 がんばりのきく子 挨拶のできる子

2 評価項目の達成及び取組状況（評価 A：十分達成 80%以上 B：達成 79～60% C：成果がやや足りない 59～40% D：不十分 39%以下）

(1) 指導領域の評価

評価の項目と主な観点	職員評価		評価の理由(成果や課題・改善策)	関係者評価
① 健康安全・体力の向上 ・朝のマラソンや運動遊び等による体力や運動能力の向上 ・健康で安全な生活をしようとする態度や習慣 ・様々な食べ物に興味を持ち進んで食べようとする意欲	A	88.7%	◇昨年度より 2.3 ポイント下がったが十分達成されたと考える。行事に追われる中でマラソン体操の回数が減ったが、保育者自身が工夫して運動保育に取り組んだことが高評価となった。今後も行事は極端には減らないことを考えると、保育者の努力工夫が求められる。保護者評価は 98%と高評価であり、園の運動保育に対して評価をしている。とくに運動会、親子チャレンジウォークの評価が高かった。 ◇3学期の参観会で各学年運動の成果を発表するなどの方法を検討している。	A
② 人間関係・自立心 ・ものごとの善悪や決まりの大切さに気付いて行動する態度 ・友達の気持ちを大切にしようとする態度 ・人とかかわる楽しさを感じ、一緒にやろうとする態度	A	88.4%	◇昨年度より 4.2 ポイント下がったが十分達成された。在園児はコロナ禍で育った子ども達であり、入園した時は人見知りがかかなり強い子どもが多かった。担任は、日常の保育や行事を通して子どもの思いを聞いたり、子ども同士で決めさせたりするなど意図的に関わりを持たせる指導をしてきた。そのことにより人間関係の向上や自立心の育成をしていることが成果となっている。 ◇発達に課題を抱えた子どもへの対応が課題となっている。	A
③ 言葉 ・自分の思いを言葉で伝えようとする態度と力 ・話を聞こうとする意欲や態度 ・読み聞かせを楽しむ	A	85.6%	◇十分達成された数値ではあるが、昨年度より 2.3 ポイント下がった。各クラスで、自分の思いを伝え合う活動や行事の際は子ども達で話し合っている。しかし、年齢により語彙の少なさなどで取り組みの難しさを感じている先生もいる。保護者からの評価は 93%と高い。 ◇英語サイードリームは、行事に追われ継続的に取り組めなかった。保護者からは短い時間であっても継続した取り組みを望む声がある。	A
④ 表現 ・活動に興味や関心を持って取り組み心を動かされる姿 ・自分の思いを自分の方法で楽しみながら表現する喜び	A	90.8%	◇昨年度とほぼ同じであった。保護者評価は 99%と非常に高い。発表会でのダンスや劇での表現、絵画の制作を通して豊かに表現できる子どもを育てていることが評価された。先生は言葉と表現は密接に関係していると感じている。言葉の指導にも力を入れていきたい。	A
⑤ 環境 ・園内外の動植物に興味関心を持って接しようとする態度 ・野菜や花の成長を喜び、世話をしようとする態度 ・環境とかかわって遊んだり遊びをつなげたりする態度	A	83.2%	◇昨年度よりやや上がった。例年課題にあがる項目であるが年々改善されてきている。しかし、コロナ禍で園外散歩の回数が極端に少なくなった。畑を借りているが、途中の観察ができない。保護者の評価は 91%と高い。 ◇預かり棟横の小さな畑の土が栄養不足のためか、思うように野菜が収穫できなかった。また、狭いため観察も難しかった。 ◇ビオトープが水量も少なく、水路の底がコンクリートのためビオトープの機能を果たしていない。	A

(2) 園の重点目標や活動についての評価

<p>1 がんばりのきく子 ・困難なことがあっても最後までやり遂げようとする姿</p>	A	90.6%	<p>◇昨年度とほぼ同じで、保護者の評価も93%と高い。子ども達は、先生の励ましの言葉で楽しみながらがんばることができた。 ◇運動会、発表会、チャレンジウォークと大きな成果をあげることができた。 ◇親子チャレンジウォークでは、昨年度よりバス利用者が大きく減った。6キロの距離をほぼ全員のひよこさんが最後まで歩き通すことができ、自信につながった。保護者も大変驚き、感動していた。</p>	A
<p>2 思いやりのある子 ・友達のことを気遣い友達の気持ちを考えて行動する姿</p>	A	90.5%	<p>◇昨年度より2.4ポイント下がったが、保護者の評価は97%と高い評価であった。人間関係のよさが思いやりある行動につながっていると思われる。一部に支援を要する子どもが関係するトラブルがあるが、先生が上手に対応し、周囲の子ども達との関りを作ってくれている。</p>	A
<p>3 あいさつのできる子 ・自分から挨拶したり挨拶されたら挨拶を返したりする姿</p>	A	82.1%	<p>◇4.8ポイント下がり、課題となっている。挨拶ができる子どもはだいぶ増えているが、個人差がとても大きい。朝の登園時で先生が挨拶しても返せない子どもも多い。しかし、全員一緒に挨拶する時は元気よく大きな声でできる。 ◇ゲーム性を取り入れた「先取り挨拶」などの取り組みを考えたい。</p>	A
<p>4 行事の評価 ・様々な行事での園児の姿、行事の計画・運営等の評価</p>	A	90.8%	<p>◇コロナ禍であっても、子どもの育成という理念をぶらさないで、できる限り普段通りの行事を行うことができたことを自己評価している。 ◇多くの保護者も、コロナ禍であっても通常と変わらない行事を行ってくれたことを高く評価している。</p>	A
<p>5 個に応じた指導 ・園児の理解に努めそれに応じた指導ができたか</p>	A	85.4%	<p>◇支援を要する子どもが多くなってきており、個々への対応に悩んでいる様子が見えがえる。関係機関と連携を図りフィードバックなどを通して共有したことを一人一人の子どもの支援に生かしている。 ◇保護者から95%という高い評価を得たことは、「わが子を大切にしてもらっている」という満足感の表れと思われる。</p>	A
<p>6 地域の施設や人材、自然を生かした指導 ・地域理解に努め地域を生かす指導ができたか</p>	B	75.9%	<p>◇例年の本園の課題であり、なかなか改善することができていない。親子チャレンジウォークは評価されたが、それ以外の園外保育が行事の関係で3学期に集中してしまう。また、大規模園のため、学年の予定が合わないといけない実情もある。クラス単位でも園外散歩に行ける工夫をしていく必要がある。保護者の評価94%と高かった。</p>	B
<p>7 保護者への対応や連携 ・保護者への連絡や対応、連携が適切であったか。</p>	A	86.7%	<p>◇昨年度より1.2ポイント下がり、過去3年間下がり続けている。しかし、担任は小さなことであっても丁寧に保護者へ連絡し、話しを聞くことを進めるなどうまく連携を図っていた。保護者の評価は94%と高いことを考えると、先生が厳しく自己評価していると思われる。</p>	A
<p>8 園内研究や研修の推進 ・指導力や保護者への対応力向上等の研修ができたか。</p>	A	80.7%	<p>◇昨年度より2ポイント下がった。保育に支障がない範囲で多くの先生が研修会に参加させた。若手が増えているため、ベテランの保育を参観する機会をつくるなど園内研修のあり方を改善する必要がある。 ◇来年度は南ブロック研修会場になるため、一層の研修を進めていきたい。</p>	A

9 校務分掌の適切さ ・仕事量と人数が適切で効果的な分掌となっていたか。	B	78.3%	▽昨年より 5.2 ポイントと大幅に下がった。70 周年記念式典も重なり、係に負担が重くなったため評価が下がったと考える。仕事量に対して職員数の関係もあり、かつ経験年数の少ない若手が増えているため、どうしても一部に中心的な仕事が偏ってしまう傾向になる。 ▽若手であっても仕事を割り振ることも検討しなければならない。	B
10 魅力ある園づくり ・就園先として選択される園づくり	A	90.6%	◇市内でも少子化が懸念されている中、来年度も予想より多くの園児が入園してくれることを考えると、保護者にとっては魅力ある幼稚園と評価されていると考える。教職員も自信を持っている。今後も、保護者子どもに満足度の高い活動や行事を提供できるよう努力していきたい。 ◇ひよこ(2歳&満3歳保育)、運動、絵画造形、英語、運動会、発表会、課外保育、預かり保育が充実し、選ばれる幼稚園ができつつある。	A

3 本年度の重点 「笑顔あふれる幼稚園」

1 笑顔あふれる保育や行事を提供できたか	A	90.8%	◇昨年度は担任だけの評価であったが、本年度はクラス補助、預かり職員も評価してもらったため、全体的に評価数値は下がった。担任は子どもの笑顔が輝けるよう保育を工夫していることがわかる。しかし、行事などの多忙感から充実した保育ができなかったという反省も見られた。保護者の評価は 98%と非常に高く、園の取り組みを評価している。	A
2 子どもは笑顔で園生活を送っているか	A	93.2%	◇どの子どもも常に笑顔で生活しているのがわかる。高い評価結果であるが、昨年度より 2.7 ポイント下がった。経験値の高い先生は、単に楽しい笑顔ではなく、より質の高い笑顔を求めている傾向が見られた。 ◇保護者の評価は 97%であった。	A
3 教職員は笑顔で子どもや保護者に接しているか	A	94.9%	◇全職員が Smile Smile Smile を意識し、保育しているのがわかる。それが保護者へも伝わり 99%という高い評価になって現れた。先生方の挨拶と笑顔がとにかく爽やかでいつも気持ちがいい、本園に入園して本当によかったという感謝の言葉が多く寄せられた。	A

4 総合的な評価結果(園内評価委員会の評価を記載)

評価	理由
A	<p><園としての評価> ○コロナ禍の影響で出生率が低下し、市内でも一層の少子化が進む中、幸いにも本園では来年度入園する園児を定員以上獲得できるという大きな成果を挙げた。笑顔あふれる幼稚園の具体、保育の質、充実した保育環境、職員の対応など魅力ある園づくりを進めてきたことが、入園を考える保護者に好影響を及ぼしたと考えている。</p> <p>○本年度は、担任だけでなく非常勤職員(補助、預かり、事務)も評価した。項目により、それぞれの立場からの評価に差が見られる。業務内容や子どもの見方の違いから来るものであるが、複眼的に評価できるため今後の参考にしていきたい。</p> <p>●全体としての評価は高く満足できるものであるが、昨年度と比較すると全ての項目で評価が低くなっている。非常勤職員も含めた評価が影響していると考えられる。また、子どもの姿や行動、質はそれほど変わっていないことを考えると、職員がより高いものを求めているため、見方が厳しくなっている傾向も見られる。</p> <p><評価委員会の評価> ○コロナへの対応がよい。自粛が多い他園と比較し、その都度の状況や情報を保護者へ提供した上で、園としての対応を示してくれたことで安心</p>

できた。それが保護者から高く評価されている。

- 教育目標の具体の姿が挨拶、がんばる、運動、表現など子どもの姿となってあらわれている。評価もしっかりされていることがわかる。
- 評価から子どもを鍛えていることがわかる。例として、蓮華寺池までのチャレンジウォーク、年長の1km マラソンなど、やる前から大人は無理と考えることも、子どもはよく頑張っている。
- コドモンという ICT を活用していて時代に合致している。情報発信もスピード感があり、的確であるため保護者は評価している。
- 発表会、運動会や日々の保育の中で子ども主体の保育をしてあげていることがよくわかる。
- 保護者は、本園では子どもが様々な経験をすることができ、そこで成長させてもらっていると実感している。
- 発表会、作品展など子どもの表現力を育てていることがよくわかる。しかし、作品展では同じ構図や描き方など画一的な絵が散見されたのが残念である。保護者は豊かな感性や表現力、個性を育ててほしいと願っているため、魅力ある幼稚園という視点からも絵画の研修を進めてほしい。
- 前半は保育の様子を Zoom で配信したが、保護者は子どもの様子を見たいという希望があり、より多くの配信機会を求めている。
- 職員、保護者の意見に行事が過多というものが見られる。行事だけでなく、日々の保育の中も見直しをして、担当が余裕をもって子どもに関われるようにしてほしい。
- 安定的な園児確保を考えた時、園を選ぶ選択肢に「給食」を挙げる保護者が多い。自園給食ができればより園の魅力は増すと思う。